

# 益城町民とともに 移動の未来を語る シンポジウム

MOBILITY SYMPOSIUM IN MASHIKI

10年前の熊本地震。益城町の仮設住宅で、小さな互助の取り組みが始まりました。その活動は、町の東部地域で「支えあい」の移動支援として定着していきました。

いっぽう、町ではバス路線の縮小が進む一方で、復興の象徴である県道高森線の4車線化など道路インフラの整備が進み、「クルマ社会」への依存度は高まりつつあります。

震災復興とまちづくり、そして地域交通。マイカー、公共交通、インフォーマルな移送サービスなど、多様な交通モードが融合された益城町の移動の未来を、専門家や地域団体を交えて、町民とともに考えます。

参加費

無料

要事前  
申し込み

2026

5/30 (土)

14:00 - 16:00

(開場 13:30)

会場

益城町地域共生センター カタル (多目的ホール)

〒861-2242 熊本県上益城郡益城町木山 592番地

お申し込み方法

参加申し込みは専用WEBサイトから→  
<https://x.gd/n59E5>

申し込み締切：5月23日(日)



## 01 基調報告

益城町のまちづくりとして  
考える移動の未来

田中 尚人 氏

熊本大学大学院先端科学研究部 准教授  
(併任 熊本創生推進機構 地域連携部門  
くまもと水循環・減災研究教育センター  
熊本大学ましきラボ)

ゲストスピーカー：

太田恒平 氏 株式会社トラフィックブレイン 代表  
斉場俊之 氏 さいばーとれいん 代表



## 02 事例報告

外出支援がつなぐ、  
これからの地域づくり

小出 照幸 氏

NPO法人全国移動サービスネットワーク 理事  
熊本外出支援ネットワーク 代表  
熊本県高齢者障害者福祉生活協同組合 (ふくし生協) 常務理事

報告者：

富嶋 智香子 氏 益城町社会福祉協議会 地域福祉課 課長  
井上 俊夫 ましきおでかけ支援隊 会長



## 03 パネルディスカッション 「町民とともに益城町の移動の未来を考える」

敬称略 モデレーター：田中尚人

パネラー：太田恒平、斉場俊之、小出照幸、富嶋智香子